街と心を動かす“続く・ムーブメント”

～ 面白い企画やアイデアの裏側にあるのは…「遊び心」「交流」「想い」など ～

▲ 寄席オン・ザ・ルーフ

▲ あけぼの寄席

▲ 弐の壱寄席

▲ 立川志らく 落語会 in シエマ

INFORMATION

1	寄席 オン・ザ・ルーフ vol.3 in 願正寺	●日時／8月3日(金)19:00～●会場／願正寺 本堂●出演者／柳亭小痴楽、瀧川鯉八、神田松之丞●料金／前売3,000円、当日3,500円(全席自由)●問合せ先／マチノシゴトバ COTOCO215(☎0952-37-5883)
2	第32回あけぼの寄席	●日時／9月30日(日)昼の部12:00～夜の部17:00～●会場／旅館あけぼの●出演者／柳家喬太郎、立花家橘之助、桂宮治、三遊亭歌太郎●料金／7,000円(寄席弁当付き)●問合せ先／旅館あけぼの(☎0952-24-8181)
3	玉川奈々福　浪花節	●日時／11月2日(金)19:00～●会場／浪漫座●出演者／玉川奈々福、曲師：沢村豊子●料金／前売2,500円、当日2,800円●問合せ先／田辺(☎090-5283-9883)

02 街で広がる寄席ムーブメント

旅館あけぼの、
ON THE ROOFなど

記者
街なかの愛の伝道師
庄 野 雄 輔

いわゆる「落語ブーム」が全国に広がって久しいですが、もちろん佐賀の街でも例外ではありません。例えば今年で 32 回目を迎える旅館あけぼのの「あけぼの寄席」はもちろん、最近では平成の落語ブームの立役者として知られる若手ユニット「成金」からお三方が登場する「寄席・オン・ザ・ルーフ」。そして元々は喫茶店で開催されていたのが店の閉店後も有志によって続いている「弐の壱寄席」、他にもシアターシエマや stool coffee での寄席イベントなど。ジャンルは古典落語や新作落語、講談など様々です。

このように「笑い」が街なかでは継続し、そして新たに生まれています。これはまさにムーブメント。「うちが寄席をはじめたのは、佐賀にいても本格的な芸能を楽しんでほしいという思いから。文化活動なんですよ。そもそも寄席文化といえば江戸時代ですが、この時代はコミュニケーションが今以上に濃密なときであり、何でも対面での交流なんです。些細な会話から、仕事の伝達、そしてもちろん笑いも。昨今は世知辛い世の中になりましたが、だからこそ密なコミュニケーションを堪能できる古典芸能を続けるのは大事だと思います」と語るのは、旅館あけぼのの音成社長。また昨年から呉服元町を舞台に寄席イベントを企画している ON THE ROOF の伊藤さんは「夕暮れ時に落語家さんが着物をきて街を歩いている姿って素敵だと思います。ふらっと街を訪れた時にお店ばかりではなく、新旧問わず芸能が楽しめる街の雰囲気。ON THE ROOF のイベントで初めて落語に触れたという若い人の声も多く聞きますし、是非そういう方の入り口になれれば」。

まさに様々な世代に広がる可能性を持つ「寄席」のムーブメント。この動きがこのまま続いていけば、さらに楽しいコミュニケーションが街に広がっていくかもしれませんね。

03 泊まらなくても“いつも”楽しいゲストハウス

佐賀インターナショナルゲストハウス HAGAKURE

記者
Uターン3年目
百 武 凛 那

佐賀駅北口から西へ徒歩 5 分のところに、ゲストハウス Hagakure はあります。2017 年春にオープンして以来、韓国や中国をはじめ、国内外から数多くの観光客が宿泊する佐賀市で唯一のゲストハウスです。

ここは、もともと飲食店だった空き家がリノベーションされた建物で、内装に名尾和紙をあしらった部屋や、佐賀出身の画家であるミヤザキケンスケさんと地元のボランティアさんが手がけた壁画があるのも特徴の一つ。1 階スペースは宿泊客でなくても気軽に利用でき、夜はバーに変身。県産の日本酒を飲みながら、ゲストと佐賀の地元民が交流し毎晩賑わいを見せます。他にも不定期にギターライブや薬膳カレーを食べる会、イングリッシュカフェトークやインストラクターを招いた日本茶講座などがあることも。また“フランス語を話す会”は、6 月までフランスからのインターンシップで滞在していたサンドリーヌさんにより開催されていました。彼女は滞在中、ゲストハウスの運営を手伝っていたそう。このように、ここは国際交流したい日本人学生や佐賀に住む外国人留学生をはじめとして、様々なコミュニティが集まり続けている場所なんです。

▲ 店長の高瀬さん(左)とサンドリーヌさん(右)

また Hagakure では、毎月第 3 日曜に開かれる朝食会もひそかに人気を集めています。その名も「ナツオニール」。主催者である平石夏子さんの名前の一部と、ご本人が好きなスピッツの曲名をかけて名付けたそう。実は最近市内の飲食店では、毎月第 4 日曜のモーニングが定番になりつつあります。以前はハシゴしてまで来てくれるファンがいたそうですが、ゆっくり食材を味わってもらいたいと、週をずらしたとのこと。そして肝心のメニューは、ごはん、みそ汁、漬物、おかず、お茶。毎月テーマにする地域を決め、そこで作られた食材を中心に使います。これまでは武雄、白石、諸富など、各地の直売所や知り合いの農家から食材を仕入れ、平石さんの手で素敵な朝食に仕上げられます。中でも 8～11 時の間に 4 回も炊くという土鍋ごはんは絶品。できたてほやほやの県産ご飯はやみつきになること間違いなしです！メニュー表には、食材の産地やお店の紹介などが書かれており、作った人の顔が見えると、なんだか食材に感謝して食べたい気持ちになります。やはり地元産は安心できるし、佐賀はこんなに豊かな土地なんだと実感できます。

▲ 土鍋で炊く佐賀県産の白ご飯は特におすすめです

平石さんは言います。「家族連れや大学生、女性の一人客など客層は様々。気になっていてもなかなか来る勇気がないという声もあるけれど、相席をすれば自然と会話が弾むアットホームな空間だから、気軽に来て欲しい」。7 月はお休みのため、次回は 8/19（日）に開催するそうです。

[INFORMATION]
佐賀インターナショナルゲストハウスHAGAKURE　☎0952-97-7384●佐賀市神野東2丁目4-12●HP　http://www.saga-hagakure.com/
※朝食会は500円／一食(子供無料)、限定20食、ご飯とおかずのおかわり自由。

街なか かわらばん
記者募集中!!
かわらばん記者（市民ライター）になると…
ボランティア記者として、取材をきっかけに様々な人のネットワークや、街なかの新情報がゲットできるかもしれません。また参加したいときにだけ気軽に参加できるのが特徴です。
●問合せ先／かわらばん編集室(NPO法人まちづくり機構ユマニテさが内)☎0952-22-7340

パシフィック通訳・翻訳事務所
佐賀市駅前中央1-5-15 モードビル6F
通訳・翻訳　日本語　英語　中国語　韓国語　他
TEL 0952-23-1146　URL　pacific.oceanppa.com
FAX 0952-23-5011　E-mail　pacific@oceanppa.com
言語に関する事おまかせください。

04 一年中飽きない味をお届けする

白山ドリア　クリム

記者
街なか楽しみ見つけ隊
谷 口 幸 恵

白山アーケード内に昨年 9 月にオープンした、白山ドリア クリム。定番のドリア常時約 20 種類に加えて、毎日変わる日替わりドリアの種類はなんと！100 種類超！手作りの 5 種類のソース（ベシャメル、カレー、ミート、トマト、アラビアータ）に、季節に合わせた旬の具材を取り合わせて新たな美味しさを研究しています。一例を挙げると、春にはフキやワラビ、筍など想像するだけでワクワクするような食材が使われたり、冬には醤油ベースで餅、すりおろした長芋などの食材に上からあんをかけたあんかけドリアだったり。梅肉や海苔を使った和風のドリアにも挑戦しています。これから向かう夏メニューは、少し辛さを加えたホットなドリアを考案中。

そしてもう一つの驚きは、セットについてくるパンのおいしさ。一口食べるとそのおいしさにびっくり。秘密はクレミアソフトに使われるクリームを使用していることと、毎日手ごねで焼かれていること。持ち帰りを希望される方も多いそうですが、その味はぜひランチで体験してみてください。

▲ クレミアソフトのクリームが入った自家製パン

▲ 店長の神代さん

▲ デザートの種類も豊富

▲ おしゃれな看板が目印です

▲ シーフードドリア

▲ トマトとモッツァレラチーズドリア

▲ ホクホク南瓜とトマトのカレードリア

▲ 餅とベーコンの和風クリームドリア

▲ トマトと蓮根のカレードリア

▲ 雑煮ドリア

店長の神代貴子さんにお話を伺いました。
お店をオープンするきっかけは小さい時にお母様と食べたシーフードドリア。街なかを盛り上げたい、という思いを形にするときに思い浮かんだのはずっと好きだったドリアのお店。新しいメニューのアイデアは意外にも洋食以外の食事中や、ふとした瞬間に浮かぶそうです。頼もしいスタッフに囲まれ、野菜に下味をつけることなどでドリアにした時にぐんと美味しくなる工夫をしています。
「働く人が気持ちよく働ける環境を整えることでお客様に還元できるお店を目指している」という言葉通り、お店の方の笑顔は「ピカッ」と音がしそうです。パスタやデザートも充実していて、広い店内はゆっくりと寛げます。お腹の中から街も人も元気にするドリアをまず一度、ぜひお試しください。

[INFORMATION]
白山ドリア クリム　☎0952-26-4888●佐賀市白山2丁目5-17●営業時間／11:30～15:00(OS14:30)、17:30～21:00(OS20:30)●定休日／日曜、祝日※変更になる場合あり●駐車場／なし●HP　https://www.facebook.com/shirayamadoria/

TOPICS

「文化の発信地シアターシエマが提供する大人の社交場」誕生!

記者
街と ヨーロッパ好き女子ライター
茶 圓 彩

▲ カフェのカウンターがバーカウンターに！

▲ 自然と生まれる交流

今後のスケジュール
7月27日(金)8月10日(金)、24日(金)　※詳細はシアターシエマのHPを参照

佐嘉神社の裏、セントラルプラザ 3 階にある映画館「シアターシエマ」。ここは映画だけでなく、楽しいイベントも頻繁に開催されています。その1つとして 5 月から始まったのが『THE YORU CIEMA -CAFE&PUB-』。このイベントは、スタッフの池田さんがイギリス滞在中に見つけた“パブと映画が一体になった映画館”から着想を得て、今のところ月に 2 回ほど開催されています。大人の社交場としてお酒を提供しつつ、大きなスクリーンで映画の予告編を流すなど、いつもと違う雰囲気を味わえるようになっているんです。ということで、私も実際に参加してきました！

いつもは明るいカフェスペースが薄暗くなっていて、それがまるで見知らぬ人との交流を促す場を提供してくれているよう。参加した人の多くはこの素敵な空間とお酒で酔ってしまい、ちょっとオープンになった心で思い思いに館内を歩いたり、スタッフの人や見知らぬ人と笑い合ったり真剣に話し込んだり・・・。居心地の良い雰囲気が流れていてなんとも素敵な夜でした！
このように文化の発信地として面白いイベントを開催し、情報を提供し続けるシアターシエマ。これからもますます注目度が高まります！楽しかった！皆さんもぜひ！

[INFORMATION]　THE YORU CIEMA -CAFE&PUB-　●日時／シアターシエマのHPで確認●会場・問い合わせ先／シアターシエマ(☎0952-27-5116)●HP http://ciema.info

PR

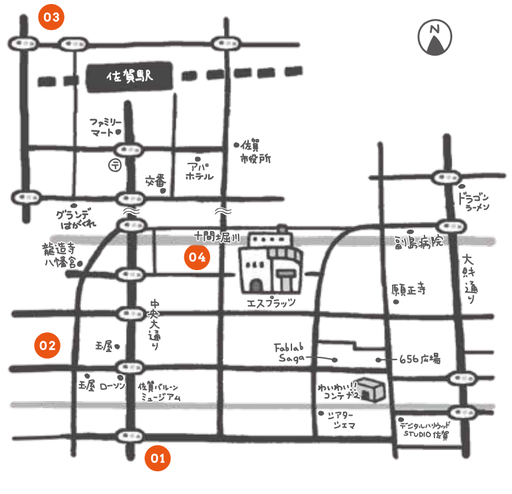
3階からの眺めを見てみませんか

積水ハウス株式会社 佐賀支店

記者
趣味探しに夢中
平 由 衣

[INFORMATION]
積水ハウス株式会社 佐賀支店
☎0952-29-1161●佐賀市兵庫南３丁目１４－２２
●営業時間／９：００～１８：００
●定休日／火、水曜、祝日

３階建ての住まいは都市部、と思っている方も多いのではないでしょうか。実は県内でも４０棟以上建っています。３階建ての魅力は狭い土地でも理想の住まいを実現できること。敷地をフル活用して１階を駐車場にしたり、２・３階にリビングを設けたり、設計の自由度が高い当社だからこそ叶えられる住まいがあります。

また、多世帯同居や賃貸・店舗併用にもおすすめです。各階を自由にプランニングできるので、親世帯・子世帯ともに納得のいく間取りを実現することができます。賃貸住宅や店舗と自宅を併用することで、住みながら収益を上げることも可能です。

まずは積水ハウス佐賀支店まで、お気軽にお問い合わせください。